



プロジェクト名称

宇宙開発学生団体 Hoper's



プロジェクト活動概要

“ものづくり”を宇宙開発という観点から経験します。宇宙開発の一貫として、小型模擬衛星 cansat の製作および、大会に出場します。Cansat とは、小型衛星を製作する場合のバス部分(基本機能に必要な機器)の開発練習として考案されたものです。さらに、衛星に必要な電源・通信・GPS・姿勢制御などの要素を組み込んだ地上用衛星実験機器です。

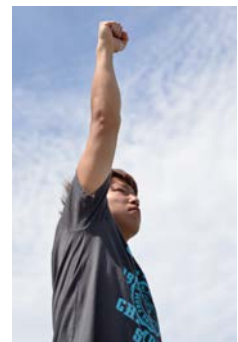
Cansat を製作するうえで技術面の不安があります。そこで、NPO 法人 UNISEC に加盟し、他大学と交流する事でカバーしています。NPO 法人 UNISEC とは、大学・高専学生による手作り衛星ロケットなどの実践的な宇宙工学活動を支援することを目的としています。また、cansat 競技における大会運営にも携わっています。

Cansat 競技における大会には、世界大会が存在するが、我々は、国内大会に参加しています。国内大会において、1年間で規模が大きな大会は、8月中旬

の『能代宇宙イベント』・3月初旬の『種子島ロケットコンテスト』があります。他にも大会があるようだが、不定期であり、目標とするには不適切と考え、『能代宇宙イベント』・『種子島ロケットコンテスト』に出場することを目標と決めました。

また、“ものづくり”をする技術者の卵として、我々の活動を知って欲しいのと共に、“ものづくり”の楽しさを伝えたいと考えています。そこで、3つある芝浦工業大学のキャンパスの中で、豊洲キャンパスをピックアップしたいと思います。我々が、豊洲という「まち」と「ひと」を繋げる架け橋となり、豊洲内で、芝浦工業大学のブランド化を図ります。

以上の事をふまえ、我々は団体内で、cansat を製作する開発部と、豊洲の架け橋となるような企画や宣伝をする企画宣伝部に分けて、1年間活動しています。





活動状況報告&活動写真など 活動期間：2013年6月17日～9月30日

Hoper'sの活動は2年目を迎えました。活動状況報告書9月号でお伝えしたい事が2つあります。1つは、7月29～30日にららぽーと豊洲とコラボして、『ペットボトルロケット教室』を開催しました。1日2回、2～3時間程のプログラムです。500mlペットボトルを使って1から自分だけのオリジナルペットボトルをつくって、ららぽーと豊洲の広場で飛ばしました。2日間で100人以上の子供達に参加して頂きました。また、スタッフTシャツは、同じ学生プロジェクトのATELIER SITの作品です。そして、芝浦通信 relate が取材にこられました。他には、スタッフのフォローとして、大妻女子大学や神奈川大学の方が協力してくださりました。ありがとうございます。

もうひとつは、去年参加した秋田県で行われる『能代宇宙イベント』に参加しました(8月21～25日)。今大会における cansat の目標は【小型化】です。それに向けて、基板をプリント基板化し、ハードの見直し、プログラムの改善を行いました。そうすることで、以前までの3分の1程の大きさの cansat が完成しました。この cansat に「Torenia」と名づけました。大会は2日間開催されました。1日目は自由落下をしてしまいました。2日目は、急遽機体の仕組みを変更して挑みましたが、無事着地しました。この失敗を活かして、来年3月の『種子島ロケットコンテスト』に挑みたいと思います。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

Cansat に関しては、3月の『種子島ロケットコンテスト』に向けて、毎週定例会議を実施に活動しています。豊洲との交流活動のアウトリーチでは、『ペットボトルロケット教室』以外の企画を考案していきたいと考えています。応援よろしくお願いします。

